

Ⅲ-5 レクリエーション機能調査

健康で心豊かな生活を実現するためには、みどりに包まれた環境の中で、健康維持増進のためのスポーツ、文化活動やコミュニティ活動など様々な活動が繰り広げられる場となるみどりやオープンスペースの確保が不可欠である。また、こうした活動は、日常的なものであるため、人々が身近に利用でき、かつ、目的に応じて有機的なつながりの中で利用できるものでなければならない。

そこで、本項では以下の観点から、レクリエーションに資する目黒区のみどりの機能について調査を行った。

レクリエーション機能の観点

身近な遊び場の提供

- ・生活様式の多様化により、身近な公園緑地の利用形態も多様化している。このような住民の多様なレクリエーションニーズに応えるためには、身近な公園緑地が適正に区内に配置されることで公園緑地の機能が効率よく発揮される。

レクリエーションネットワークの形成

- ・公園や社寺林などの都市のみどり資源は、個々で利用されるより、ネットワークされ有機的に連携することで、住民のレクリエーションを多角的かつ多様なものにする機能を有する。

1. 身近な遊び場の提供

目黒区の2023(令和5)年4月1日現在の公園の整備状況を表Ⅲ-5-1に示す。

これによれば、目黒区全体の公園整備面積は、48.94haであり、区民一人あたりの面積は、1.75㎡/人であった。また、その他の公園の面積は1.31haであった。都立公園である駒沢オリンピック公園、林試の森公園は目黒区内の面積の合計で11.43ha、また区立の公園である、地区公園(2箇所)で8.26ha、近隣公園(5箇所)で10.44ha、街区公園(25箇所)で6.45ha、都市緑地(42箇所)で5.41ha、緑道(10箇所)で4.46ha、児童遊園(49箇所)で2.48haであった。また、ふれあい広場(10箇所)で1.01ha、遊び場(9か所)で0.30haであった。

「目黒区みどりの基本計画(2016(平成28)年3月改定)」では、一人当たり公園面積を令和7年度までに、2.0㎡/人にすることを目標としている。現在の公園整備面積と比較すると、0.25㎡/人、公園面積で約6.99haの整備が必要である。また、公園などの配置状況の地域的な偏在が見られる。

そこで、各町丁目の一人当たり公園整備面積を比較し、公園整備量が他地域と比較して低い地域を把握した。その結果、中目黒3丁目、下目黒1丁目・4丁目、南2丁目・3丁目、鷹番1丁目、碑文谷4丁目、八雲4丁目において一人当たり公園面積は0㎡/人であった。また、目標数値である2.0㎡/人を超えている町丁目は、多くは都立公園、地区公園、近隣公園が整備されている地区だが、大橋1丁目、中根2丁目、碑文谷3丁目については、比較的大規模な街区公園、都市緑地が整備されていることから2.0㎡/人を超えている。

また、公園整備においては、一人当たり公園面積と併せて、公園誘致圏という考え方がある。身近な公園サービスを区民に平等に提供する観点から、この誘致圏の考え方で公園整備状況を評価する。なお、誘致距離については、目黒区みどりの基本計画に基づき設定した。

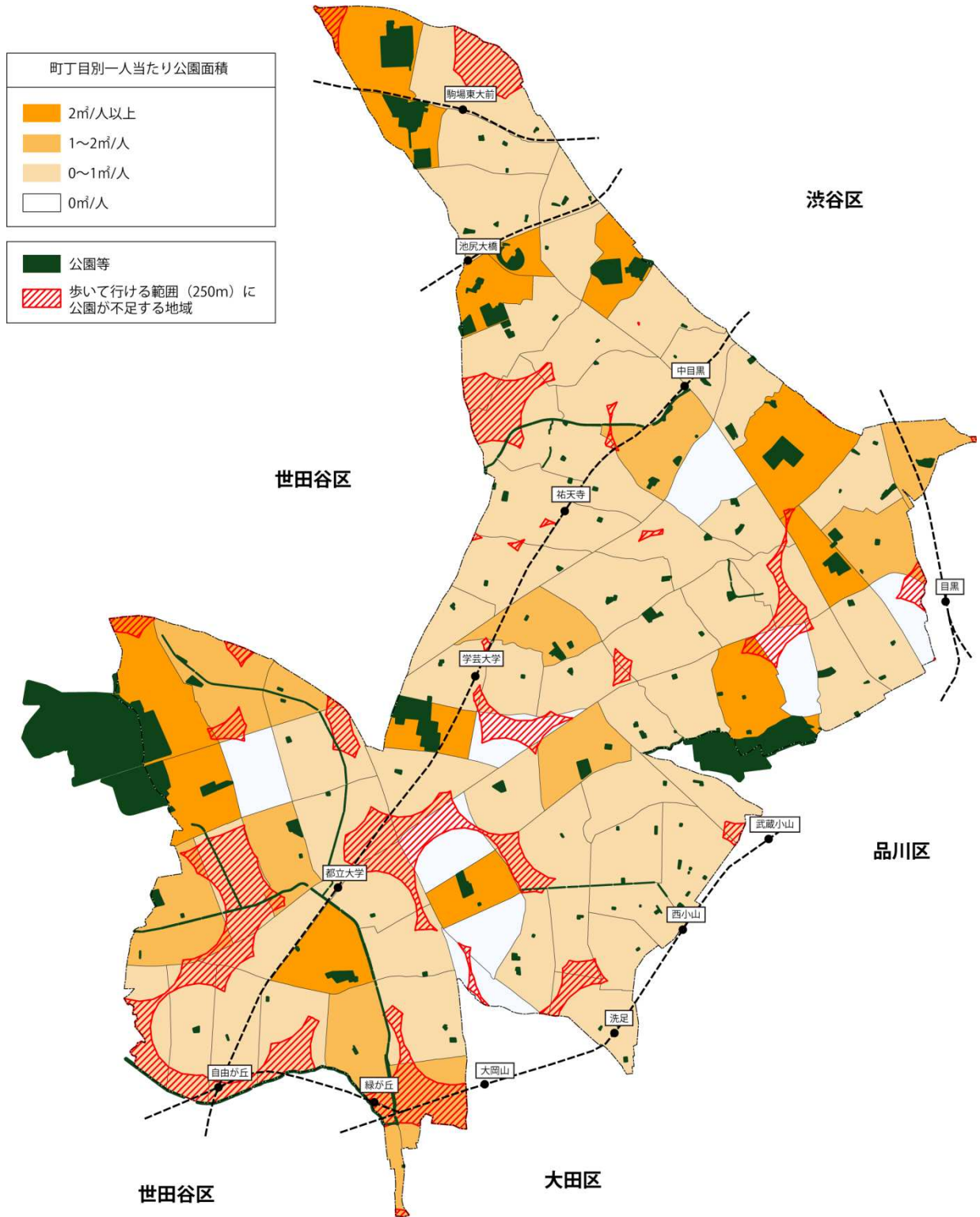
ただし、「身近な公園」の確保の観点から、街区公園以上の公園種別についてはすべて誘致距離250mとした。その結果、以下の地域で誘致圏の観点からの公園不足地が確認された。

身近な遊び場の提供状況の分布図を図Ⅲ-5-1に示す。

表Ⅲ-5-1 目黒区公園等整備状況

(令和5年4月現在)

町丁目	人口	公園等										その他公園		
		都市公園 総合公園 運動公園	地区公園	近隣公園	街区公園	都市緑地	緑道	都市公園計	児童遊園	面積	一人当 面積	ふれあい広場	遊び場等	その他 公園計
駒場 1丁目	4,152					191.41		191.41	640.74	832.15	0.20		355.00	355.00
駒場 2丁目	529		39,025.29					39,025.29		39,025.29	73.77			0.00
駒場 3丁目	843					293.48		293.48		293.48	0.35			0.00
駒場 4丁目	1,408			40,396.47				40,396.47		40,396.47	28.69			0.00
青葉台 1丁目	2,510							0.00	300.02	300.02	0.12			0.00
青葉台 2丁目	945			10,549.65		20,049.39		30,599.04		30,599.04	32.38			0.00
青葉台 3丁目	3,198					200.13		200.13		200.13	0.06			0.00
青葉台 4丁目	1,862					451.96		451.96	735.16	1,187.12	0.64			0.00
東山 1丁目	3,778							0.00		152.06	0.04			0.00
東山 2丁目	6,483			2,923.56				2,923.56	413.22	3,336.78	0.51			0.00
東山 3丁目	3,281			18,494.92	1,752.05	319.51		20,566.48	914.00	21,480.48	6.55			0.00
大橋 1丁目	2,705					7,096.28		7,096.28		7,096.28	2.62	2,985.35		2,985.35
大橋 2丁目	4,315					403.75	1,281.66	1,685.41	677.23	2,362.64	0.55			0.00
上目黒 1丁目	1,780						175.61	175.61		175.61	0.10		1,050.88	1,050.88
上目黒 2丁目	4,172				2,123.32	1,470.87	1,670.59	5,264.78	1,362.27	6,627.05	1.59			0.00
上目黒 3丁目	5,382					172.73	1,821.31	1,994.10	300.25	2,294.35	0.43			0.00
上目黒 4丁目	3,838						2,161.16	2,161.16	387.04	2,548.20	0.66		449.23	449.23
上目黒 5丁目	3,860						2,031.00	2,031.00		2,031.00	0.53			0.00
中目黒 1丁目	3,047							0.00	882.56	882.56	0.29	2,716.00		2,716.00
中目黒 2丁目	2,263			22,074.10				22,074.10	1,064.92	23,139.02	10.22			0.00
中目黒 3丁目	2,660							0.00		0.00	0.00			0.00
中目黒 4丁目	3,598				1,282.36	1,178.26		2,460.62		2,460.62	0.68			0.00
中目黒 5丁目	3,213					1,038.98		1,038.98		1,038.98	0.32			0.00
三田 1丁目	2,263					3,591.28		3,591.28		3,591.28	1.59			0.00
三田 2丁目	3,596					2,211.87	104.69	2,316.56	762.23	3,078.79	0.86			0.00
目黒 1丁目	3,849					3,304.31	148.76	3,453.07	621.48	4,074.55	1.06	730.89		730.89
目黒 2丁目	2,752			10,000.15				10,000.15		10,000.15	3.63			0.00
目黒 3丁目	3,272						121.19	121.19		121.19	0.04			0.00
目黒 4丁目	3,560				1,708.12		980.01	2,688.13		2,688.13	0.76			0.00
下目黒 1丁目	1,414							0.00		0.00	0.00			0.00
下目黒 2丁目	6,385				829.49	451.31		1,280.80	319.59	1,600.39	0.25			0.00
下目黒 3丁目	3,827				3,332.23			3,332.23	189.20	3,521.43	0.92	443.13		443.13
下目黒 4丁目	2,844							0.00		0.00	0.00			0.00
下目黒 5丁目	3,907	56,956.96				594.62		57,551.58	361.48	57,913.06	14.82	49.77		49.77
下目黒 6丁目	3,423							0.00	526.64	526.64	0.15	207.96		207.96
中町 1丁目	4,947				4,513.17			4,513.17	391.10	4,904.27	0.99			0.00
中町 2丁目	4,909				1,498.89	1,043.66		2,542.55		2,542.55	0.52			0.00
五本木 1丁目	3,755				1,396.32	230.20	159.06	1,785.58	537.32	2,322.90	0.62			0.00
五本木 2丁目	3,931					1,002.60		1,002.60		1,002.60	0.26			0.00
五本木 3丁目	2,053					489.22		489.22		489.22	0.24			0.00
祐天寺 1丁目	2,332					465.72		465.72		465.72	0.20			0.00
祐天寺 2丁目	1,945							0.00	499.68	499.68	0.26			0.00
中央町 1丁目	3,239							0.00	617.64	617.64	0.19			0.00
中央町 2丁目	4,625					3,802.72		3,802.72	1,121.89	4,924.61	1.06			0.00
目黒本町 1丁目	2,989				921.22		691.00	1,612.22	476.93	2,089.15	0.70	102.97		102.97
目黒本町 2丁目	4,594				5,797.95			5,797.95	910.01	6,707.96	1.46			0.00
目黒本町 3丁目	2,965				652.33			652.33		652.33	0.22			0.00
目黒本町 4丁目	4,206							0.00	341.26	341.26	0.08			0.00
目黒本町 5丁目	5,206					903.14	174.91	1,078.05	1,242.51	2,320.56	0.45			0.00
目黒本町 6丁目	4,316					208.72	631.50	840.22	1,134.51	1,974.73	0.46			0.00
原町 1丁目	3,023					810.76	622.41	1,433.17		1,433.17	0.47	65.58		65.58
原町 2丁目	2,504					247.60	247.60	495.20	439.66	934.86	0.27			0.00
洗足 1丁目	2,738					196.49		196.49		196.49	0.07			0.00
洗足 2丁目	2,988					222.73		222.73	502.69	725.42	0.24	287.34		287.34
南 1丁目	2,868				821.27	1,262.39	123.80	2,207.46		2,207.46	0.77	167.83		167.83
南 2丁目	2,536							0.00		0.00	0.00			0.00
南 3丁目	2,073							0.00		0.00	0.00			0.00
碑文谷 1丁目	4,078						725.77	725.77		725.77	0.18	175.16		175.16
碑文谷 2丁目	3,226				2,772.87			2,772.87		2,772.87	0.86			0.00
碑文谷 3丁目	2,223					7,493.72		7,493.72		7,493.72	3.37	195.97		195.97
碑文谷 4丁目	2,539							0.00		0.00	0.00			0.00
碑文谷 5丁目	3,385							0.00	692.00	692.00	0.20			0.00
碑文谷 6丁目	1,792		42,976.49					42,976.49		42,976.49	23.98			0.00
鷹番 1丁目	2,502							0.00		0.00	0.00			0.00
鷹番 2丁目	3,102							0.00	314.90	314.90	0.10			0.00
鷹番 3丁目	3,056		557.32					557.32	600.06	1,157.38	0.38			0.00
平町 1丁目	3,689					1,468.69		1,468.69	320.33	1,789.02	0.48			0.00
平町 2丁目	3,348					2,096.84		2,096.84	497.02	2,593.86	0.77			0.00
大岡山 1丁目	5,168				754.93		1,136.50	1,891.43	390.59	2,282.02	0.44			0.00
大岡山 2丁目	1,312						1,321.72	1,321.72		1,321.72	1.01			0.00
緑が丘 1丁目	3,248						4,912.30	4,912.30	583.16	5,495.46	1.69			0.00
緑が丘 2丁目	3,229						937.37	937.37	330.57	1,267.94	0.39			0.00
緑が丘 3丁目	870					88.20	877.69	965.89		965.89	1.11			0.00
自由が丘 1丁目	2,504						745.27	745.27		745.27	0.30	249.50		249.50
自由が丘 2丁目	2,618				989.53		311.30	1,300.83		1,300.83	0.50			0.00
自由が丘 3丁目	2,298						474.47	474.47		474.47	0.21			0.00
中根 1丁目	3,397						984.91	984.91		984.91	0.29	116.40		116.40
中根 2丁目	3,876				8,271.10	382.93	655.33	9,309.36		9,309.36	2.40			0.00
柿の木坂 1丁目	4,079						2,055.99	2,055.99	448.45	2,504.44	0.61			0.00
柿の木坂 2丁目	3,941						1,648.51	1,648.51	645.79	2,294.30	0.58			0.00
柿の木坂 3丁目	1,600						1,233.80	1,233.80	636.28	1,870.08	1.17			0.00
八雲 1丁目	2,605				2,300.02		1,597.54	3,897.56	264.46	4,162.02	1.60	2,800.09		2,800.09
八雲 2丁目	3,415						3,205.40	3,205.40		3,205.40	0.94			0.00
八雲 3丁目	4,044				4,117.12	220.29	2,556.88	6,894.29	292.00	7,186.29	1.78			0.00
八雲 4丁目	2,092							0.00		0.00	0.00			0.00
八雲 5丁目	2,825	17,276.53			6,694.19	618.93	473.30	25,062.95		25,062.95	8.87			0.00
東が丘 1丁目	4,473				2,866.11	569.97	2,316.60	5,752.68		5,752.68	1.29			0.00
東が丘 2丁目	3,061	40,042.51						40,042.51		40,042.51	13.08			0.00
総計	279,251	114,276.00	82,559.10	104,438.85	64,502.05	54,178.52	44,629.05	464,583.57	24,840.90	489,424.47	1.75	10,127.21	3,021.84	13,149.05



図Ⅲ-5-1 身近な遊び場の提供

2. レクリエーションネットワークの形成

公園は、単体で利用されることがほとんどであるが、複数の様々な機能を有する公園や地域資源が複数連携することで、さらに多くの住民からのニーズに応えることが可能である。たとえば、お年寄りやスポーツ愛好家のためにウォーキング・ジョギングのルートと休憩場所の提供や、地域の自然や歴史に興味を持つグループへの散策ルートの提供など、単に「公園で遊ぶ」というだけでない、健康や環境といった様々なニーズに応えることが可能である。

目黒区においては、身近な公園や、社寺などを結んだ9つのコースを「みどりの散歩道※」として設定しており、利用者のニーズに応じて、四季の自然や小さな歴史にふれることができる空間を提供している。

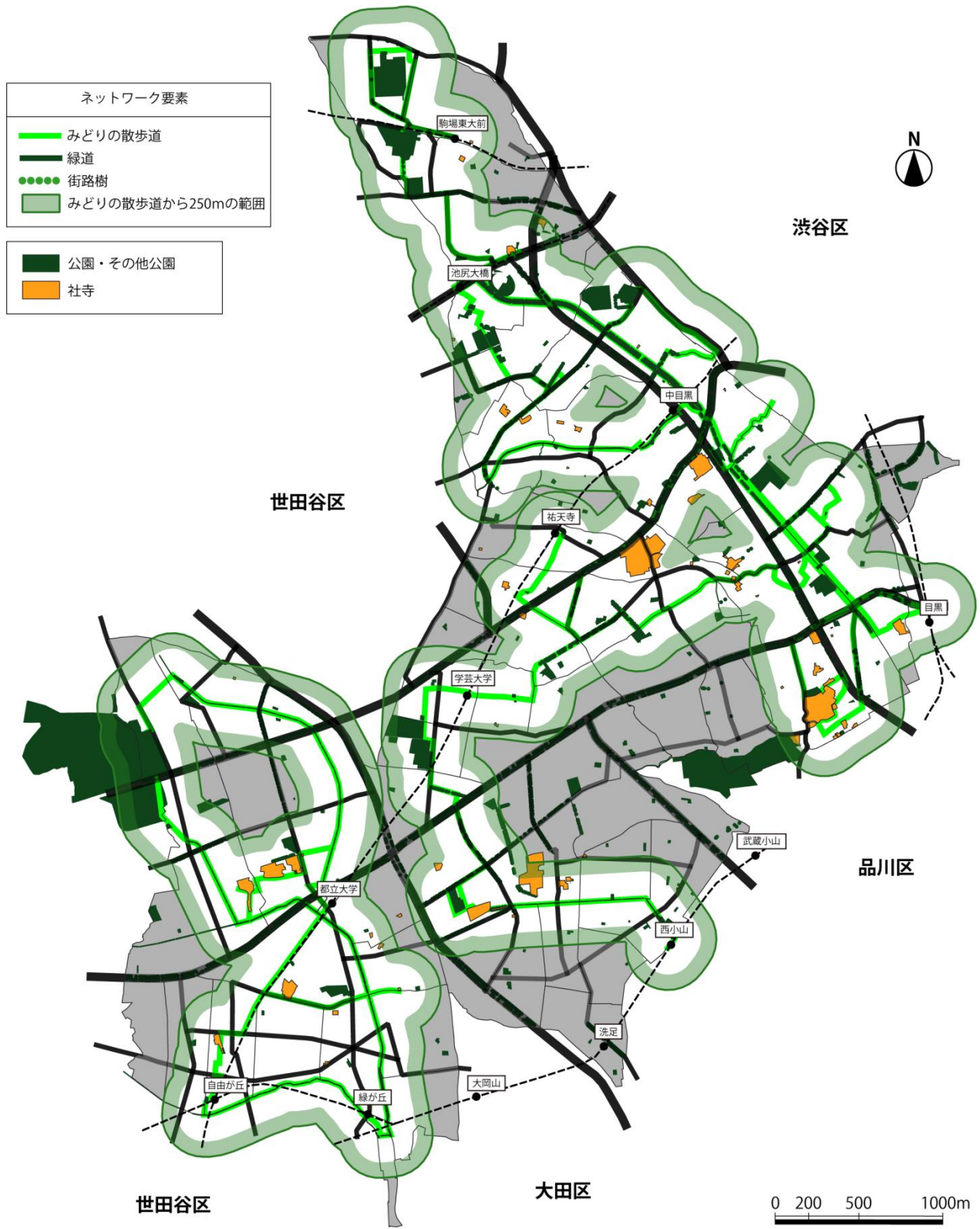
そこで、みどりの散歩道において、歩行者が緑道や街路樹、接道部緑化といったみどりの中を歩きながら、区内の各種公園や社寺にアクセスできるのかどうかを調査した。

みどりの散歩道については、その道を中心に街区公園の誘致距離である250m以内に区内のほとんどの公園や社寺が含まれていることが分かった。レクリエーションネットワークの形成状況を図Ⅲ-5-2に示す。

みどりの散歩道

- ・ 駒場コース
- ・ 東山貝塚・蛇崩川コース
- ・ 西郷山・目黒川コース
- ・ 目黒川コース
- ・ 不動コース
- ・ 区役所・美術館コース
- ・ 碑文谷・立会川コース
- ・ 呑川・柿の木坂コース
- ・ 呑川・自由が丘コース

※みどりの散歩道：1982（昭和57）年度に区制施行50周年記念事業として、区内の公園・緑地、文化施設や史跡等を巡ることができるように、歩道・街路樹等の緑化推進事業やガイドパネルの設置を行った。



図Ⅲ-5-2 レクリエーションネットワークの形成

Ⅲ-6 景観形成機能調査

都市の景観は、その都市が持つ固有の自然・地勢等を基礎的な条件として、幾世代にもわたる歴史の変遷の中で、各時代の人々の営みの積み重ねによって形成される。加えて、現代の地域社会における様々な人々の活動や生活を反映したものとしても形成される。

また、景観とは、樹林地や河川といった自然物や、道路・建築物等の人工的な構築物等により形成され、さらに、地域で行われる祭りやイベント等も地域の景観を特徴づけていく。

このように都市の景観とは、そこで生活する人々の営為を反映しながら、その都市や地域の印象を左右し、地域のアイデンティティの源泉となるものであるといえる。

この中で、みどりの果たす役割は大きい。

そこで、本項では以下の観点から、景観形成に資する目黒区のみどりの機能について調査を行った。

景観形成機能の観点

みどりの景観資源

- ・都市の景観には様々な構成要素がある。これらの構成要素にとって、都市の背景となる樹林地や、シンボルとなる緑地・樹木、移動景観の印象をより良いものにする街路樹などは、都市の景観を特徴づけ潤いのあるものにしていく機能を有する。

区民の心に残るみどり

- ・景観の構成要素となるみどりは、住民にとってその地域の印象を空間的・時間的によりよかつ深いものにし、ひいては「目黒らしさ」を演出する機能を有する。

1. みどりの景観資源

「目黒区景観計画※（2012（平成24年）4月改定）」によれば、目黒区の景観要素は「自然」「生活空間」「歴史」「街並みの変化」としている。このうち「街並みの変化」については、みどりの景観資源の抽出対象としては適当でないことから、主に「自然」「生活空間」「歴史」の景観要素の観点で以下の項目を抽出した。

目黒区のみどりの景観要素

1. 自然

・めぐろの森 ・いきものの道※ ・公園緑地 ・水辺

2. 生活空間

・みどりの散歩道 ・街路樹 ・緑道 ・生け垣

3. 歴史

・社寺林

※目黒区景観計画では、「みどりの軸」が位置付けられているが2014（平成26）年度策定の目黒区生物多様性地域戦略において、「みどりの軸」である目黒台軸が、「いきものの道」では立会川いきものの道となっている。ここでは、「自然」の景観要素であることから、後年度に策定された、目黒区生物多様性地域戦略の軸構成に準じて景観資源を抽出した。

「自然」の景観を構成するみどりの景観資源としては、めぐろの森、いきものの道、公園緑地・水辺があげられる。

めぐろの森には、大学や大規模な公園の比較的規模の大きい緑被地が存在しており、みどり豊かな景観を構成している。

いきものの道である「目黒川いきものの道」では、目黒川左岸に大規模な緑被地が複数あり、連続するみどりの景観を形成している。柿の木坂から八雲、大岡山、碑文谷にかけての「いきものの道」は小規模ながらも数か所の緑被地や公園が点在しており、それらをつなぐように緑道や街路樹があり、一体感のある地域の景観を形成している。それ以外の「いきものの道」については、みどりの景観資源が少ない。また、自然水面の水辺の多くは目黒川や公園内で確認できた。

※景観計画：景観法に基づいて景観行政団体が定める「良好な景観の形成に関する基本的な計画」であり、景観に関するマスタープラン。目黒区では2010（平成22）年4月に策定、2012（平成24）年3月に改訂。

「生活空間」を演出するみどりとして、みどりの散歩道、街路樹、緑道などの線的なみどり及び住宅の生け垣があげられる。街路樹・緑道などは、連続的な景観を演出しているとともに、区民にとって魅力ある歩行空間を提供している。特に緑道は、担保性が高く、十分に景観要素として機能しうるものである。また、生け垣は、碑文谷や柿の木坂に多く見られ、こうした地域では、生け垣のみどりにより、まちのイメージが形成されやすい地域であると考えられる。みどりの散歩道を構成している緑の要素の多くは街路樹・緑道・公園や社寺・学校の公共施設の緑で構成されているが、民間の樹木でのみ構成される区間も見られ、そういった緑の要素を維持するのが困難な区間において、壁面緑化や屋上緑化、民間の樹木の保全を進めていく必要がある。

「歴史」的な景観を構成するみどりとして社寺林を挙げたが、その多くは保存樹林や保存樹木など制度により指定され、歴史的景観を保全している。

みどりの景観資源図を図Ⅲ-6-1に示す。

2. 区民の心に残るみどり

(1) 区民アンケート結果

2023（令和5）年に実施した、みどりの景観に関する区民・大学生・自然通信員を対象にしたアンケート調査『身近なお気に入りのみどりがある風景』教えてください（有効回答数46人）の結果によれば、区民・大学生・自然通信員が回答した「身近なお気に入りのみどりがある風景」について回答者数の多い場所は表Ⅲ-6-1のとおりである。またその結果を図面上にプロットしたものを図Ⅲ-6-2に示す。

区民の好きなみどりの風景がある場所は、「目黒川」、「自由が丘の街並み」、「駒場公園～駒場野公園」、「区民センター」、「都立林試の森公園」、「蛇崩川緑道」、「呑川緑道」の順で多かった。

選定理由を見ると、全体で「みどりが適切に管理されているから。」であり、次いで「みどりから季節を感じられるから。」であった。また、「自由が丘の街並み」では、「みどりの配置の工夫で開放感を出したり、色とりどりの花や葉があり明るく華やかな空間だから。」と、民有地における緑化による小さな工夫が、風景の魅力を作り出している例が見られた。

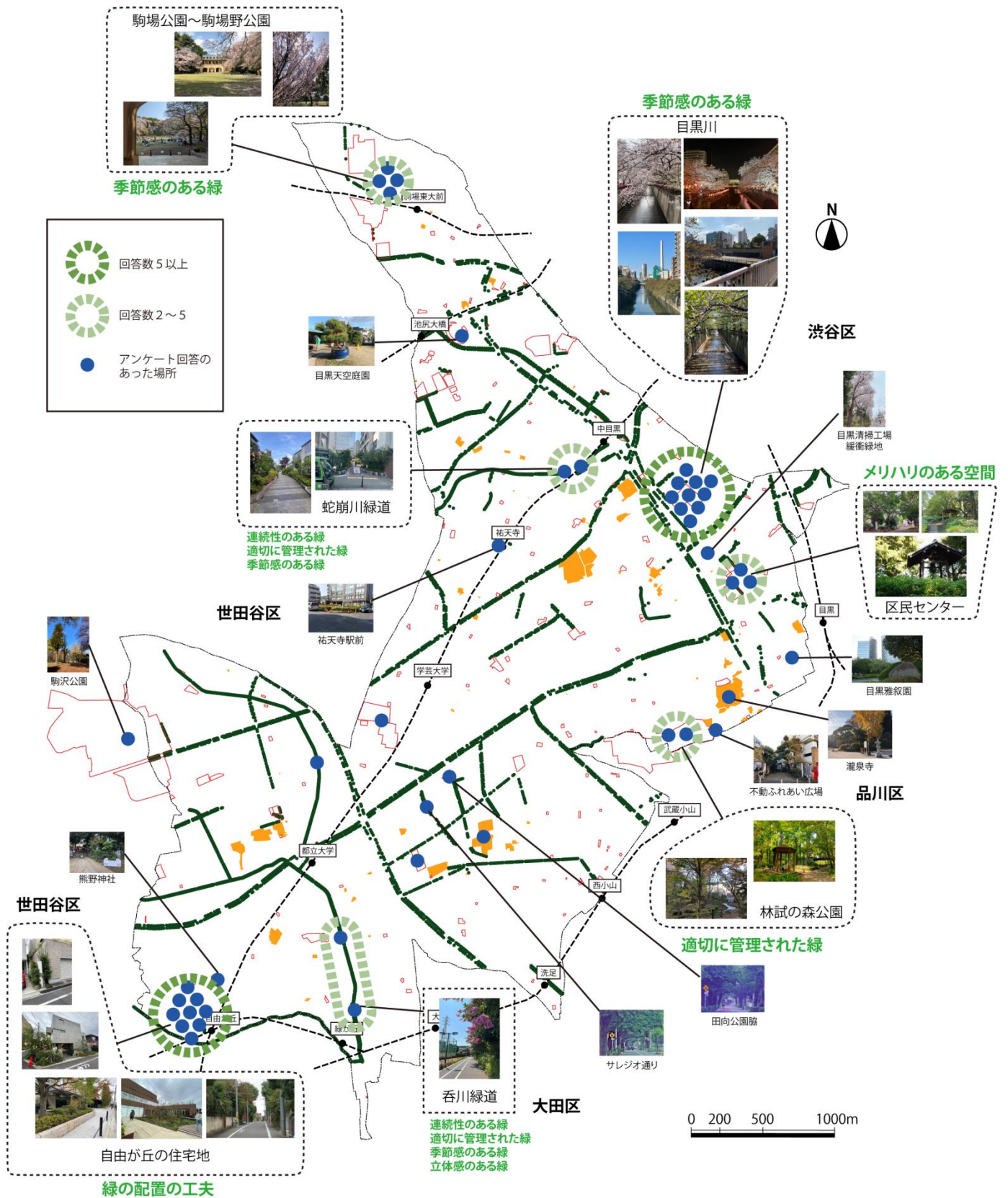
表Ⅲ-6-1 身近なお気に入りのみどりがある風景

順位	好きなみどりのある 風景	回答者数	選定理由						
			①	②	③	④	⑤	⑥	⑦
1	目黒川	10	4	5	3	4	2	2	1
2	自由が丘の街並み	9	3	1	5	4	7	2	
3	駒場公園～駒場野公園	4	3	4	2	1			2
4	区民センター	3	1	1	2	1		1	2
6	都立林試の森公園	2	2	1				1	
5	蛇崩川緑道	2	1	1		1			
7	呑川緑道	2	2	2	1	2	1	2	
8	田向公園脇を通る道	1	1	1		1			
9	サレジオ通り	1		1		1			
10	都立駒沢オリンピック公園	1							1
11	碑文谷公園	1		1					
12	目黒清掃工場	1	1	1	1		1		
13	不動ふれあい広場	1						1	
14	目黒天空庭園	1	1						
15	呑川柿の木坂支流緑道	1		1	1		1		
16	すずめのお宿緑地公園と碑文谷八幡宮	1							1
17	熊野神社	1			1				
18	瀧泉寺	1			1				
19	碑文谷の円融寺境内	1	1	1			1		
20	目黒雅叙園	1	1						
21	祐天寺駅前	1	1						
	計	46	22	21	17	15	13	9	7

※赤字は代表的な選定理由

※選定理由

- ①みどりが適切に管理されているから。
- ②みどりから季節を感じられるから。
- ③シンボルとなる樹木や、アクセントになる花や木がありメリハリのある空間だから。
- ④みどりに連続性があり、まちなみに一体感が感じられるから。
- ⑤みどりの配置の工夫で開放感を出したり、色とりどりの花や葉があり明るく華やかな空間だから。
- ⑥高木や壁面緑化などで立体感があり、多くのみどりが視界に入るから。
- ⑦その他



図Ⅲ-6-2 区民の心に残るみどり

（２）東京農業大学との連携による調査

「東京農業大学と目黒区との緑化施策に関する協定書（2004（平成16）年2月10日締結）」に基づき、東京農業大学と区でウォークブルまちづくり事業が想定される区域である、①中目黒駅周辺地区、②祐天寺駅周辺地区、③目黒駅周辺地区、④自由が丘駅周辺地区の街歩きを行い、街並み景観の調査と今後の景観機能向上等に向けた意見交換を行った。

1) 実施内容

令和5年度 日程	場所	内容
10月18日	東京農業大学地域環境科学部 造園科学科景観計画学研究室	目黒区のみどりの現状と緑化施策 令和5年度みどりの実態調査連携事業の説明
10月28日	中目黒駅周辺、祐天寺駅周辺、 目黒駅周辺	中目黒駅から祐天寺駅にかけてみどりの散歩道 を主体とする経路を東京農業大学と区職員 とで通り、まちのみどりの改善点を確認。
11月11日	自由が丘駅周辺	自由が丘駅周辺の再開発事業地や、自由が丘 の街並み形成委員会で評価の高い緑化地点を 東京農業大学と区とで確認し、良いと思われ る点を抽出。
11月29日	東京農業大学地域環境科学部 造園科学科景観計画学研究室	街歩きの振り返りを行い、中目黒駅周辺、祐天 寺駅周辺、目黒駅周辺の街の課題と改善案を 意見交換。
1月10日	東京農業大学地域環境科学部 造園科学科景観計画学研究室	①緑道 ②商店街 ③街路樹 3チームに分かれて学生が課題と改善点を発 表し、区と意見交換を実施。

2) 東京農業大学学生による提案

1月10日に行われた発表会では、以下のような提案発表が学生により行われた。その後のディスカッションでもいくつかの提案が行われている。これらの内容については、来年度以降のみどりのまちづくり事業に活かしていくこととした。

●発表の内容

発表者 東京農業大学 地域環境科学部造園科学科

景観計画学研究室

栗田和弥助教授 学生18名

○緑道「生物多様性と広がるウォークブルシティ」

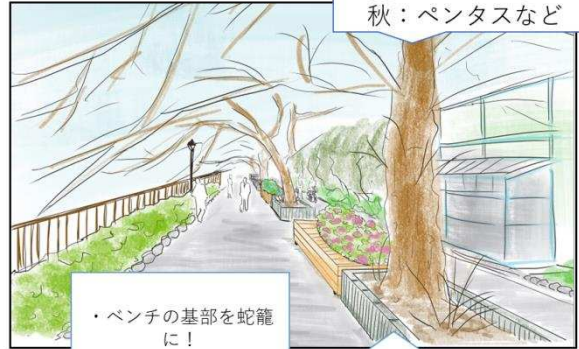
場所	課題	対応策
目黒川沿川	・全体的に休憩スペースが少なく感じた。	・蛇籠ベンチを置き、ベンチの足部分にシダ等の植栽を行う。植栽のある移動式コンテナベンチを設置。
	・桜の木の下での植栽が日陰で生育が悪い。	・植栽は四季が感じられるように春→サクラ、夏→アジサイ、秋→ペンタス等を植える。 ・アジサイは日陰に強く、ペンタスには蝶も集まる。
蛇崩川緑道	・建物が隣接していることから、プライバシーへの配慮が必要。 ・季節の変化を感じられるような植栽が少ない。	・季節を感じられる植栽を行う。 ・柱が蛇籠になっているパーゴラを設置し、そこに植物を這わせ、人工的な印象を減らす。 ・パーゴラの周りにバードパスや巣箱を設置、地際に蝶が好む植物であるペンタスを植栽することで生物多様性に配慮され、アイストップとなる。 ・ハーブ類（ラベンダー、ローズマリー、ジャスミン、カモミール）など香りがする植栽をする。 ・シンボルツリー（シイ、キンモクセイ、クスノキ、イロハモミジ）の周りにサークルベンチを置くことで休憩スペースの創出。
	・直線的である。	・くぼみを作り、滞留できるスペースを創出する。
	・U字ポールが人工的な印象となっている。	・植栽した蛇籠柵を設置する。
蛇崩川支流緑道	・オブジェの老朽化や落書きが目立っている。また、緑道の入り口が目立っていない。	・出入口の目印として、シンボルツリー（シイ・キンモクセイ）を植栽する。 ・根元にペンタスを植栽し、蝶を呼ぶ。 ・緑道の左右にある塀や柵に木や竹、擬木などを用い人工的な印象を減らす。

目黒川沿川に対しての課題と提案



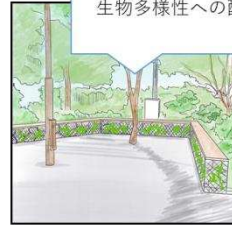
課題・評価

- ・桜の木の下の植栽が日陰により生育状況が悪い。
- ・ランニングをしている人もいるため休憩スペースが必要なのではないか。(桜を見れるベンチ等も)
- ・水辺→護岸→沿川とみどりの一体感がない。
- ・新しい見どころを創出できるポテンシャルを持っている。



※春：サクラ
夏：アジサイなど
秋：ペンタスなど

- ・ベンチの基部を蛇籠に！
- ・蛇籠に植栽を施し、生物多様性への配慮



- ・移動式コンテナベンチによる休憩スペースと植栽の両立
- ・四季コンテナによる※季節に応じた植栽

蛇崩川緑道に対しての課題と提案



課題・評価

- ・隣接する住宅への視線を適度に遮ることができる、プライバシーに配慮した緑化や景観に配慮した構造物での工夫が必要。
- ・植栽の育成状況に統一感がなく、所々圧迫感を感じる点や季節の変化を感じられるような植栽が少ない。
- ・ベンチ等の休憩もでき、足を止めて緑道を楽しめる場所が少ない。
- ・動的にも静的にも楽しめるような空間となりうる場所である。



- ・柱が蛇籠になっているパーゴラを設置し、屋根や柱に至るまで植物がこのようなデザインのものを設置して、フジなどを這わせる。ベンチの周辺には香りのある花（ローズマリーやラベンダー）を配植する。
- ・花の咲く植物を多く植えたり、バードパスを設置したりして生物多様性にも配慮する。

植栽
フジ、ローズマリー、ラベンダー、カモミール、ジャスミン

蛇崩川緑道に対しての課題と提案

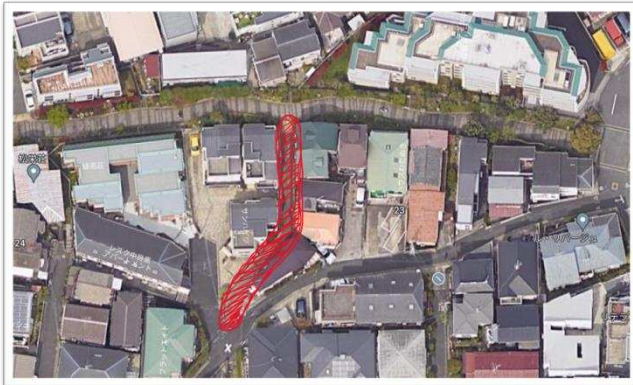


・窪みをつくることで滞留できるスペースを生み出す。
・直線的な緑道に変化を持たせることで、囲まれている印象を和らげ、緑と触れ合える場所を増やす。
・香りが楽しめる植栽を配置し、人々の憩いの場とする。

・シイ
・ギンモクセイ
・クスノキ
・イロハモミジ
上記のシンボルツリーに加え、滞留空間創出に寄与するサークルベンチを設置。

・U字ポールを蛇籠升到！

蛇崩川支流緑道に対しての課題と提案



課題・評価

・出入口のオブジェの老朽化や落書きが目立つ。
・入口の目立たなさ。
・座れるスペースがない。
・左右のフェンスの色合いや素材にかなりの人工物感を覚える。
・ゆっくり静かに楽しめる場所となり得る。

・緑道の入口にシンボルツリーを配植する。
（シイ、ギンモクセイ）
・緑道脇のフェンスに木材や竹材、擬木などを用いて、人工感を軽減し緑になじむような見た目にする。

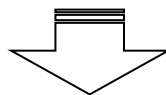
○商店街「祐天寺駅前」

場所	課題	対応策
祐天寺駅 周辺	<ul style="list-style-type: none"> ・ロータリーの緑のボリュームが少なく、季節感も少ない。 ・ロータリーと商店街に連続性がほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ロータリーの植栽部分を高くし、そこにウッドデッキを設置し、バスや迎えを待つスペースを設けるとともに自然にも触れあえる空間をつくる。 ・シンボルツリーには目黒の象徴である桜を植栽し、愛着を持たせる。また、季節感やボリュームを感じさせる。 ・シンボルツリーと商店街の連続性を持たせる。

現状・課題



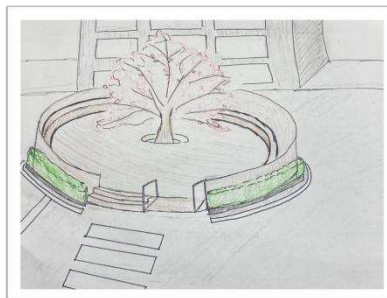
- ・ 駅前のボリューム感
- ・ 季節感を感じにくい
- ・ 連続性



駅前に目黒区の象徴である桜の木を植えて、
目印となり地域住民の方や観光客の方たち
に愛着を持たせる

バスや迎えを待つスペースを設けるとともに自然に触れる。

シンボルツリーと商店街の
連続性を持たせる



駅からロータリーに向かうときに
見る人にボリューム感を持たせる。

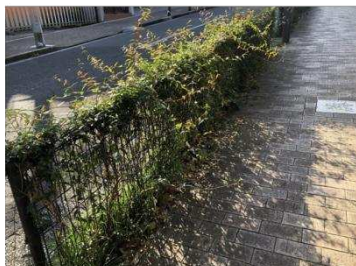
桜などの季節感があるものを植えることで四季を感じさせる。

○街路樹

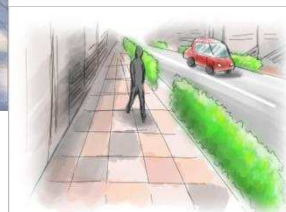
場所	課題	対応策
柳通り	<ul style="list-style-type: none"> ・アスファルトやコンクリート舗装が単調。街路樹が枯れていたり、植栽が無くなったりしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・インターロッキングブロックの舗装に変える。 ・歩道の幅員が狭いところは、ガードレールに草本類やツル、ツタを這わせる。 ・植栽帯の幅員を広くできるところには、ビヨウヤナギ・ネコヤナギを植栽し、シンボルツリーとしてシダレヤナギを植栽する。
目黒川 (新橋付近)	<ul style="list-style-type: none"> ・全体的にみどりが少ない印象である。 	<ul style="list-style-type: none"> ・護岸の法面にエコトーンを作る。 ・法面に植栽ができるブロックを配置し、汽水に対応できるヨシやアイアシを植栽する。

柳通りに対する提案

- ・幅員が狭いところはガードレールに草本類やツル植物を配置



- ・幅員が広いところはネコヤナギやビヨウヤナギを配植し柳の割合を増やす
- ・シンボルツリーとしてハナミズキの一部を改修し、シダレヤナギを配植
- ・切り株は撤去し植栽スペースを確保する
- ・道路の舗装をインターロッキングブロックにして印象を明るくする



目黒川に対する提案

- ・護岸の法面にエコトーンを作る



- ・汽水に対応したヨシ、アイアシ



●発表の後のディスカッション概要

○蛇崩川支流緑道について

蛇崩川支流緑道やその他の緑道もだが、落書きが目立った。すぐに消すべきである。また、落書きされにくい素材や色彩の検討もすべき。海外では犯罪率と落書きの有無が相関しているとのデータが明らかになっている。緑以外の景観にも配慮が必要である。

○生物多様性に配慮した植栽について

蝶を呼ぶ植物は、一定の季節だけあっても誘引するのに不足するため区のグリーンクラブ事業で配布する花苗を、四季ごとに配布するなど、通年で花があったほうが良い。

また、アベリアは蝶を呼ぶが、必ずしもボランティアに依存せず専門業者を入れることも一案である。一年草も頻繁に植替えが必要である。宿根草であれば、数年間植えたままで季節になると花を咲かせるため、管理がしやすいと思う。

蝶の道（コリドー）では四季を通じて様々な蝶が来るように、花を植替え、蝶の食草等も研究して植栽することが望ましく、他にもニホンミツバチを呼ぶ花を植えても良い。

『めぐろのいきもの80選』で選ばれていた蝶など、誘引する目標種を決めて、その蝶が好きな植物を植えることも効果的である。

また、在来種による緑化を推進した方がよい。例えば千代田区は在来種で緑化する指針を発行している。商店街などは審美性を演出するためにも園芸種でも良いが、住宅街等はその土地らしい落ち着いた在来種の緑化が良いのではないかと。

○ウォークアブル事業について

壁面をセットバックして植栽できるスペースを確保して壁面緑化することがこれまでのセオリーだったが、今後は、相互通行の車道を一部一方通行にして車道の幅員を減らし、歩道部及び緑化できるスペースを作ることも考えていく必要があるのではないかと。

大手町などはこの取り組みをして、来街者を増やしている。また、海外では、車道には公共交通機関のバスのみが通行可能で、それ以外の車両は通行禁止にしている事例もあり、バスが近づくと自動で下がり通過すると自動で上がる自動昇降式の車止めが設置されるなどしている。

○商店街について

商店街の緑化については、特に植栽面積の確保が困難な場所にハンギングバスケットを活用することができる。商店街で水やりしてもらいたい必要があるが、商店街街路灯にハンギングバスケットを設置するなどの取り組みがあっても良いのではないかと。